



事務局員の徒然日記 足摺ヤブ椿再生プロジェクトについて

今回も先月に引き続き椿の話です。

3月に入り周りの風景が色付きはじめ、春の足音を感じる季節となってきました。特に、今冬は記録的な寒波の影響で、土佐清水市でも雪が降ったり、水道管が凍ったりと、寒い日が続きました。その寒い最中で鮮やかな紅い花をつける椿に春を感じる方も多いことでしょう。今月は、足摺岬の椿林を守る「足摺ヤブ椿再生プロジェクト」について、ご紹介します。



前号でも紹介したとおり、足摺岬の椿林は大地と自然、そして人の活動の関わりの中で生まれてきたものですが、近年では生活様式の変化からメダケなどの雑木が切られなくなり繁殖、椿林の衰退に繋がってしまいました。そこで、観光のシンボルにもなっていた椿林を再生するべく、苗の移植などの取り組みが続けられ、平成28年からは地元住民と、市、環境省などが協力体制を作り椿林再生に向け取り組む「足摺ヤブ椿再生プロジェクト」がスタートしました。

＊

この「足摺ヤブ椿再生プロジェクト」は、足摺岬に自生しているヤブツバキの種子から苗を育て、足摺岬に植え戻す活動で、ヤブツバキだけでなくトベラやシャリンバイな

ども一緒に育て、自生している環境に近い状態を目指しています。

作業は一年を通して行われます。種取り、草引き、水やり、植え戻しなど、たくさんの作業があり、野外での作業は暑さ・寒さとの戦いでもあります。特に夏場は、厳しい日差しに焼かれ、全身からは滝のような汗を流しながらの作業は、体力を容赦なく奪われ大変です。しかし、育てた苗を植え戻す時や、植え戻した苗が大きくなっているのを見た時などには、今までの苦労が報われる思いです。

＊

この活動は、多くの方々の協力で成り立っています。苗の水やりなどの日々の世話は、地元の「足摺岬の自然を守る会」の方が担当してくださっています。足摺岬小学校や、清水中学校、清水高校の皆さんも種取りや植え戻し、調査などに参加してくれています。小中高校生の皆さんは、将来土佐清水を離れることがあるかもしれませんが、土佐清水に戻ってきた時に、自分の植えた椿が立派に成長して花を咲かせているのを見て、自信を持ってほしいです。10年後、20年後、美しく咲く椿を夢見ながら、これからも関係機関で協力して取り組みを続けてまいります。

(事務局員・猿田光一)



お知らせ 土佐清水ジオパーク推進協議会の法人化について

土佐清水ジオパーク推進協議会は、通過点であった日本ジオパークの認定を経て、土佐清水ジオパークの管理運営団体としてさらなる高みを目指し、このたび、組織をこれまでの任意団体から一般社団法人に改め、本年4月から「一般社団法人土佐清水ジオパーク推進協議会」として運営を開始します。

つきましては、土佐清水ジオパークの理念「自然の恵みと知恵を明日へつなぐ人づくり」に沿い、地質地形・自然・文化遺産を保全しながら、教育や持続可能な開発が一体となった取り組みを通して、地域社会の持続可能な発展になお一層取り組んでまいりますので、引き続きのご支援ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

土佐清水ジオパーク推進協議会 会長 泥谷 光信

みんなちがって、みんないい

展示 ジオ多様性と私たちの生活

四国 × ジオパーク：四国各地の地質と私たちの生活との繋がりをパネルで紹介します。
竜串ビジターセンターで開催中！ 3/24(金) まで

発行

土佐清水ジオパーク推進協議会 〒787-0450 土佐清水市三崎字今芝 4032-2
TEL 87-9590 MAIL geopark@city.tosashimizu.lg.jp

WEB

